

# Canon

## キヤノン関数電卓

### 操作ガイド

#### F-715S/F-766S

キーの名前	2	
分数計算	6	★
パーセント計算	8	★
度分秒(60進数)計算	10	★
順列と組み合わせ	11	★
三角関数計算	13	★★
通常計算の絶対値	15	★
最小公倍数と最大公約数	16	★★
商と余りの計算*	18	★
座標変換	20	★
統計計算(最大値、最小値、中央値)	22	★★
1次回帰計算	24	★★★
正規分布計算**	26	★★★
連立1次方程式の解き方**	28	★★
2次方程式の解き方**	30	★★★
n進計算**	32	★★★
複素数計算**	34	★★★
公式による計算(38の公式を内蔵)**	36	★★★

基本レベルの問題 ★

中級レベルの問題 ★★

上級レベルの問題 ★★★

\* この問題に対応できるのは、F-715Sだけです。

\*\*この問題に対応できるのは、F-766Sだけです。

# キーの名前

## F-715S

オレンジ文字で書かれた機能を使用する場合は、最初に「Shift」を押してください。押したのち、オレンジ文字で書かれた機能を実行できます。

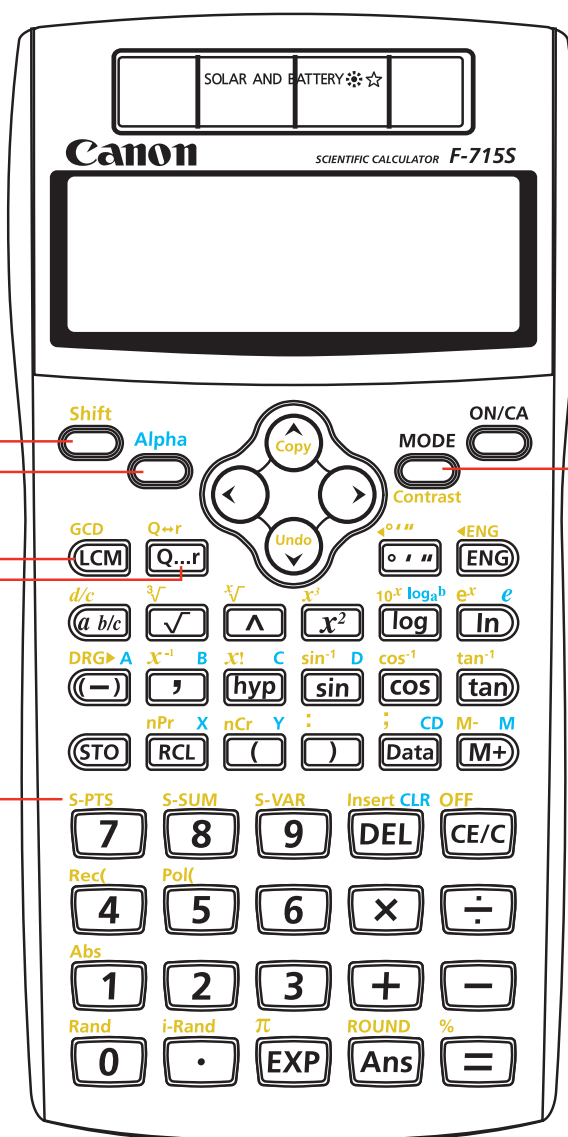
青文字で書かれた機能を使用する場合は、最初に「Alpha」を押してください。押したのち、青文字で書かれた機能を実行できます。

- 最小公倍数
- 最大公約数

商と余りの計算

統計計算と最大値、最小値、中央値

計算モードの選択を開始します。



# キーの名前

## F-715S

操作	モード		LCD表示
MODE 1	COMP	通常計算	
MODE 2	SD	統計計算	SD
MODE 3	REG	回帰計算	REG
MODE MODE 1	Deg	Degree(度)	D
MODE MODE 2	Rad	Radian(ラジアン)	R
MODE MODE 3	Gra	Grade(グレード)	G
MODE ◀ ◀ 1	Fix	固定小数点	FIX
MODE ◀ ◀ 2	Sci	科学指数表示	SCI
MODE ◀ ◀ 3	Norm	工学指数表示	
MODE ◀ 1	Disp	画面表示の選択	

# キーの名前

## F-766S

オレンジ文字で書かれた機能を使用する場合は、最初に「Shift」を押してください。押したのち、オレンジ文字で書かれた機能を実行できます。

青文字で書かれた機能を使用する場合は、最初に「Alpha」を押してください。押したのち、青文字で書かれた機能を実行できます。

ソルブ機能で公式を作って問題を解くことができます。いろいろな公式を自由に検索できます。

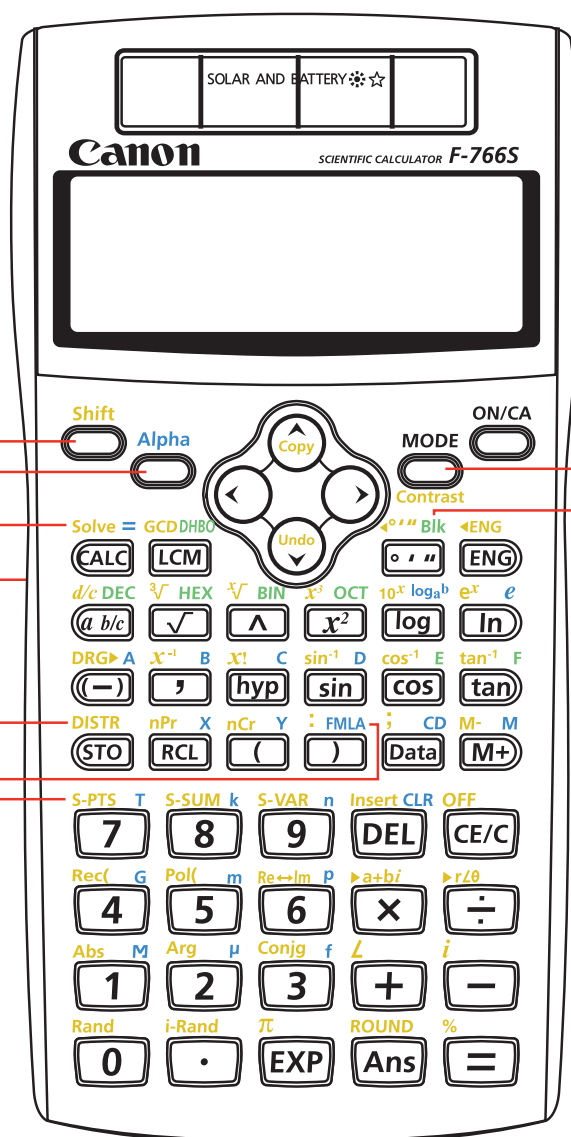
- 最小公倍数
- 最大公約数

正規分布計算

38の公式を内蔵

統計計算と最大値、最小値、中央値

計算モードの選択を開始します。



2進数計算機能。コンピュータ数学とくにソフトウェアのプログラムに便利です。

# キーの名前

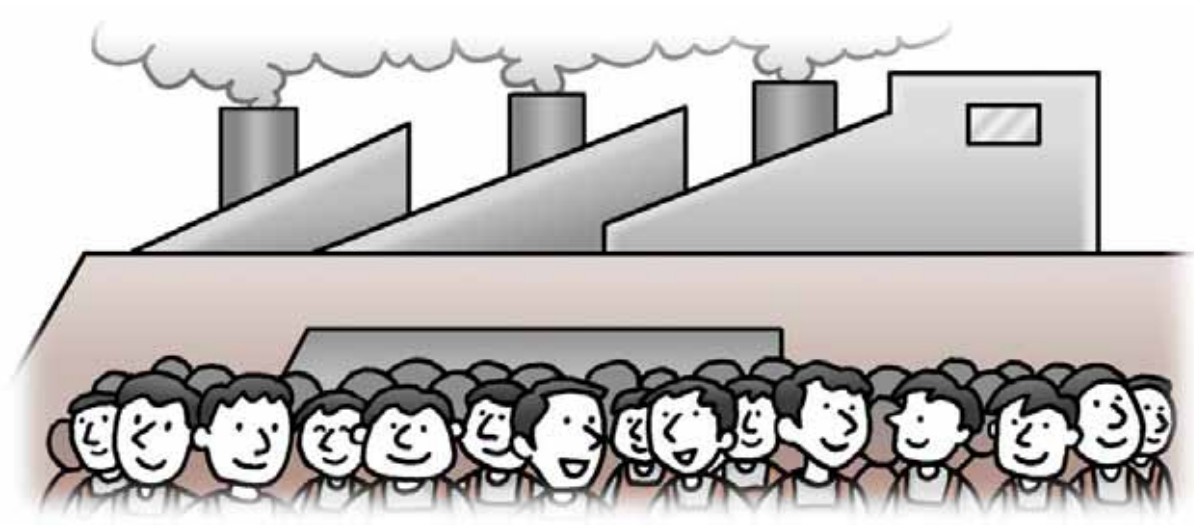
## F-766S

操作	モード		LCD表示
MODE 1	COMP	通常計算	
MODE 2	CPLX	複素数計算	CPLX
MODE 3	SD	統計計算	SD
MODE MODE 1	REG	回帰計算	REG
MODE MODE 2	BASE	n進計算	d/H/b/o
MODE MODE 3	EQN	方程式計算	EQN
MODE MODE MODE 1	Deg	Degree(度)	D
MODE MODE MODE 2	Rad	Radian(ラジアン)	R
MODE MODE MODE 3	Gra	Grade(グレード)	G
MODE ◀ ◀ 1	Fix	固定小数点	FIX
MODE ◀ ◀ 2	Sci	科学指数表示	SCI
MODE ◀ ◀ 3	Norm	工学指数表示	
MODE ◀ 1	Disp	画面表示の選択	



**例題 1 :**

ある工場に80人の工員がいます。来月さらに雇用を $\frac{2}{5}$ 増やすとすれば、来月の工員は合計何人ですか。



**操作**

1. 80  $\times$  ( ) 1 + 2  $\frac{a/b/c}{5}$  ( )  
=

**LCD表示**

$$80 \times (1 + 2 \frac{2}{5})$$

$$112.$$

来月の工員は112人です。



**例題 2 :**

あるクラスの男子生徒の数は、女子生徒の数の  $\frac{7}{6}$  です。  
男子生徒が21人いるとすれば、このクラスの生徒は合計何人ですか。



**操作**

1.  $21 \boxed{+} 21 \boxed{\div} 7 \boxed{abc} 6 \boxed{=}$

**LCD表示**

$21 + 21 \div 7 \times 6 = 39.$

生徒数は39人です。





## 例題 1:

1台の計算機の原価は150ドルです。この計算機を原価に対し20%の荒利率で売る場合、計算機の値段はいくらにすればよいですか。



### 操作

1. 150  $\boxed{+}$  150  $\boxed{\times}$  20  $\boxed{\text{Shift}}$   $\boxed{\%}$   
 $\boxed{=}$

### LCD表示

150+150<sup>□</sup>×20%  
180.

割増した値段は180ドルです。



**例題 2 :**

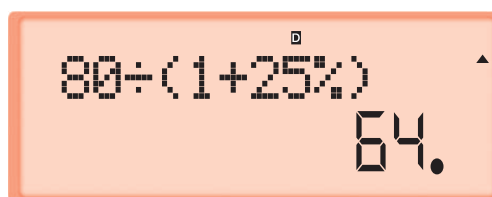
太郎の体重は次郎の体重を25%上回っています。太郎の体重が80kgとすれば、次郎の体重は何kgですか。



**操作**

1. 80  $\div$  ( ( 1  $+$  25  $\overset{\text{Shift}}$   $\%$  ) )  $=$

**LCD表示**



次郎の体重は64kgです。



## 例題 1:

78°52'36"を10進数に変換しましょう。

### 操作

1. 78  52  36

2.

### LCD表示

78° 52' 36"  
78°52'36."

78° 52' 36"  
78.87666667

10進数で表わすと78.88°です。



## 例題 1:

花子は10種類の切手をもっています。彼女は2枚の切手を選んで、2人の友だちと交換したがついています。彼女は何通りの方法で切手を交換できますか。



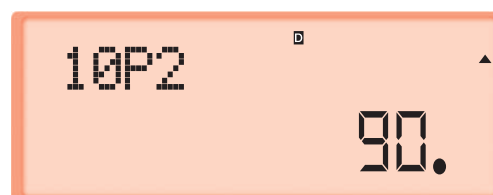
## 説明

順列の問題です。順列とはn個のものから、r個のものを決まった順序に並べることです。公式は $s_n P_r$ です。10種類のものから2人のひとに2個を選びますから、その方法は $_{10}P_2$ 通りです。

## 操作

1. 10  $\overset{\text{Shift}}{\text{○}}$   $\overset{\text{nPr}}{\text{○}}$  2  $\text{=}$

## LCD表示



90通りの方法があります。



## 例題 2 :

ある卓球チームに選手が10人います。ダブルスの試合をするため、2人の選手を無作為に選びます。合計何組つくれますか。



## 説明

組み合わせの問題です。組み合わせとは $n$ 個のものから、 $r$ 個のものを順序に関係なく選ぶことです。公式は ${}_nC_r$ です。10人の選手から2人の選手を選んでチームを組みますから、その組み合わせは ${}_{10}C_2$ 通りです。

## 操作

1. 10  $\overset{\text{Shift}}{\text{○}}$   $\overset{\text{nCr}}{\text{○}}$  2  $\text{=}$

## LCD表示

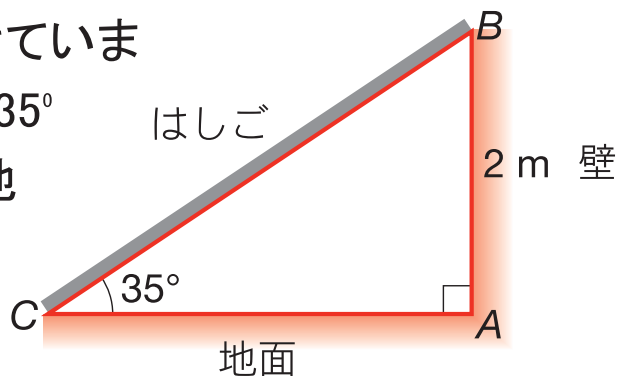
10C2

45.

45組つくれます。

## 例題 1:

はしご「BC」を壁に立てかけています。水平な地面との角度は $35^\circ$ です。はしごの最上部Bが地面から2mとすれば、はしごの長さはいくらですか。



## 説明

三角関数では平面図形や立体図形の角とその関係を調べることができます。

**sin** :  $\sin \theta = b/c$

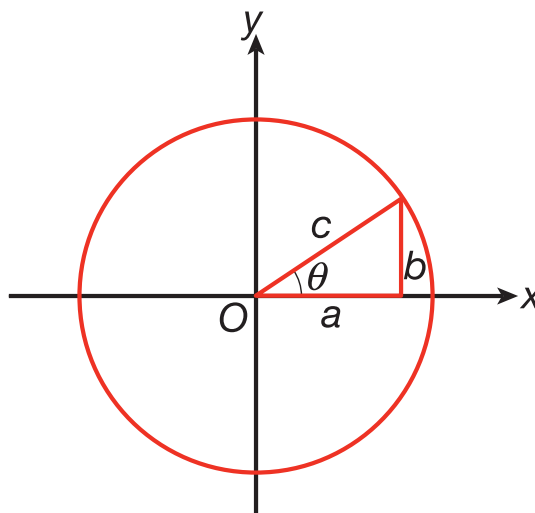
**cos** :  $\cos \theta = a/c$

**tan** :  $\tan \theta = b/a$

**$\sin^{-1}$**  :  $\theta = \sin^{-1} b/c$

**$\cos^{-1}$**  :  $\theta = \cos^{-1} a/c$

**$\tan^{-1}$**  :  $\theta = \tan^{-1} b/a$



## 操作

1.  $2 \div \sin 35 =$

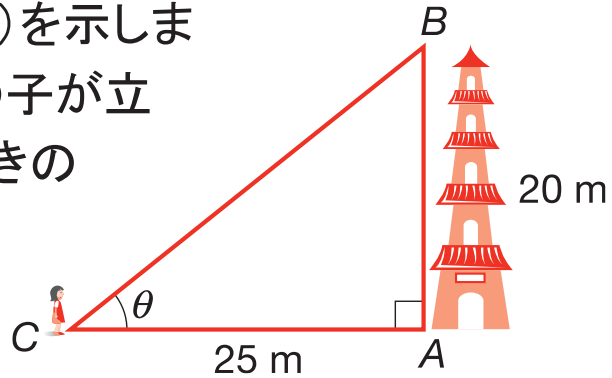
## LCD表示

2÷sin 35  
3.486893591

はしごの長さは3.49mです。

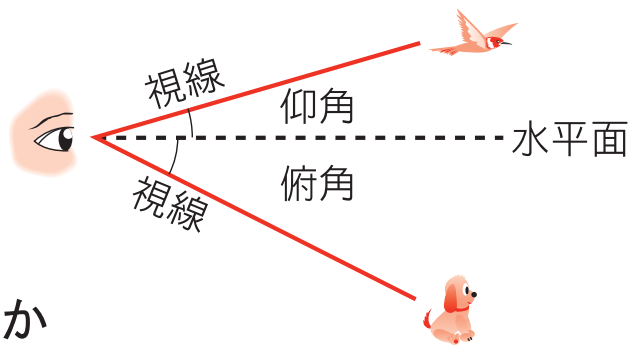
**例題 2 :**

図は高さ20mのタワー(辺AB)を示します。Aから25m離れたCに女の子が立っています。CからBを見たときの角度(仰角)  $\theta$  を求めてください。



**説明**

仰角(ぎょうかく)とは水平面から上にあるものを見るときの視線と水平面の角度です。



俯角(ふかく)とは水平面から下にあるものを見るときの視線と水平面の角度です。

**操作**

1.  $\text{Shift}$   $\text{tan}^{-1}$  20  $\text{abc}$  25  $\text{=}$

**LCD表示**

$\text{tan}^{-1} 20,25$   
38.65980825

CからBを見たときの角度(仰角)は $38.66^\circ$ です。



## 例題 1:

$|12 \div 4 \times (-3)|$ の値を求めてください。

### 操作

1. 12 4 3

### LCD表示

答は9です。



## 例題 1:

灯台Aは18秒ごとに、灯台Bは24秒ごとに、灯台Cは36秒ごとに点灯します。3つの灯台が正午に同時に点灯すれば、この次に同時に点灯するのは何秒後ですか。



## 説明

この問題では18と24と36の最小公倍数が必要です。

## 操作

1.  $\text{LCM}$  18 , 24 , 36 =

## LCD表示

LCM(18, 24, 36)  
72.

3つの灯台は72秒後にまた同時に点灯します。

## 例題 2 :

キャンディ18個、チョコレート24個、ピーナツ36個を子供たちに分け与えます。1人ずつ同数のキャンディ、チョコレート、ピーナツをもらうとすれば、最大で何人の子供がもらえますか。



## 説明

この問題では18と24と36の最大公約数が必要です。

## 操作

1.  $\text{Shift}$   $\text{GCD}$  18 , 24 , 36  
=

## LCD表示

GCD(18, 24, 36) :  
6.

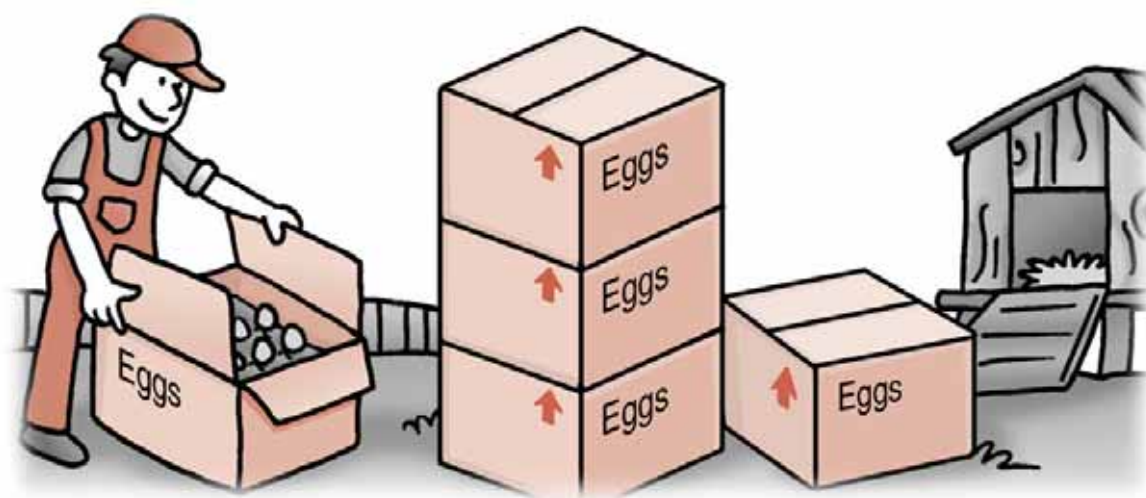
6人です。



※この問題に対応できるのは、F-715Sだけです。

## 例題 1:

養鶏場で卵が1240個とれました。1箱に24個ずつ詰めれば、卵を詰めた箱は何箱になり、卵は何個残りますか。



## 説明

1240を24で割ったときの商と余りを求めます。計算後、結果は自動的に変数メモリC、Dに記憶されます。



## 操作

1.  $\text{Q}\leftrightarrow\text{r}$  1240 , 24 =  
(商が表示されます。)

2.  $\text{Shift}$   $\text{Q}\leftrightarrow\text{r}$   
(余りが表示されます。)

3.  $\text{RCL}$   $\overset{\text{C}}{\square}$   
(商を呼び出します。)

4.  $\text{RCL}$   $\overset{\text{D}}{\square}$   
(余りを呼び出します。)

## LCD表示

Q...r(1240, 24)  
51.0

Q...r(1240, 24)  
16.r

C=  
51.

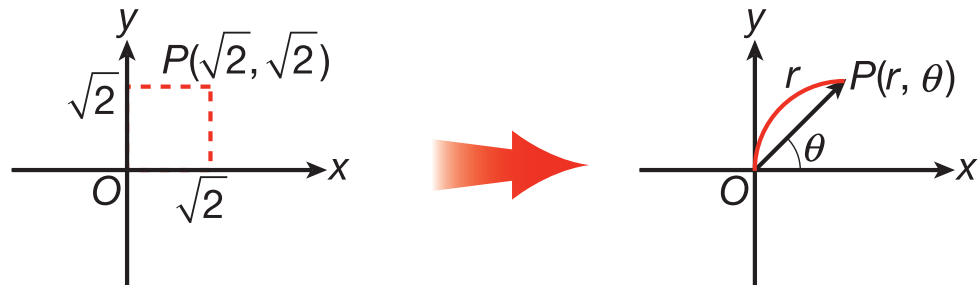
D=  
16.

卵を詰めた箱は51箱、残った卵は16個です。



## 例題 1 :

直交座標の点  $(\sqrt{2}, \sqrt{2})$  を極座標  $(r, \theta)$  に変換してください。



## 説明

座標を変換後、結果は自動的に変数メモリX、Yに記憶されます。

## 操作

1.  $\text{Shift Pol}(\sqrt{\phantom{x}}) 2 , (\sqrt{\phantom{x}}) 2 =$   
(直交座標を入力します。)

2.  $\text{RCL} \text{X}$   
(rの値が表示されます。)

3.  $\text{RCL} \text{Y}$   
( $\theta$ の値が表示されます。)

## LCD表示

Pol( $\sqrt{2}, \sqrt{2}$ )  
2.

X=  
2.

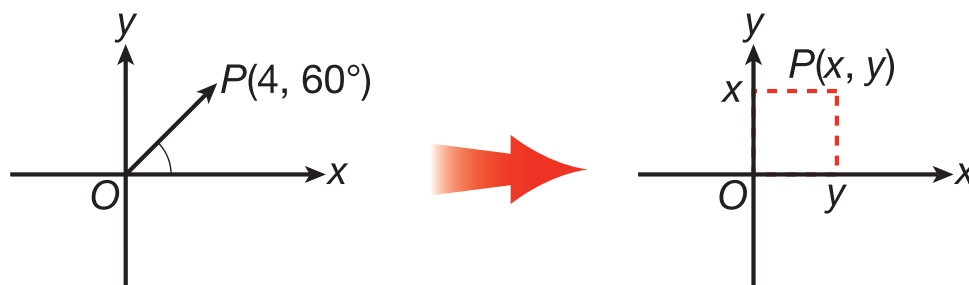
Y=  
45.

極座標は  $(2, 45^\circ)$  です。



## 例題 2 :

極座標の点  $(4, 60^\circ)$  を直交座標に変換してください。



## 説明

座標を変換後、結果は自動的に変数メモリX、Yに記憶されます。

## 操作

1.  $\text{Shift Rec} \quad \text{4} \quad \text{,} \quad \text{60} \quad \text{=}$   
(極座標を入力します。)
2.  $\text{RCL} \quad \text{X}$   
(xの値が表示されます。)
3.  $\text{RCL} \quad \text{Y}$   
(yの値が表示されます。)

## LCD表示

Rec(4,60) 2.

X= 2.

Y= 3.464 10 16 15

直交座標は  $(2, 3.464)$  です。

## 例題 1:

以下はあるクラスの男子生徒15人の体重(kg)です。

50	52	54	56	60
48	46	46	47	52
51	68	58	49	47

体重の平均値、標準偏差、中央値を求めましょう。

### 操作

1. 標準偏差モード  $\text{MODE}$  3にします。(F-715Sでは  $\text{MODE}$  2を押します。)

2. サンプルデータを入力します。

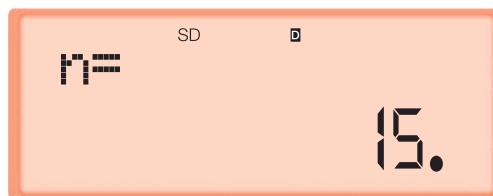
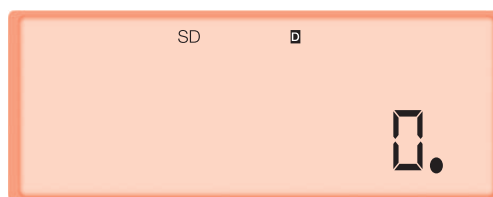
50  $\text{Data}$  52  $\text{Data}$  54  $\text{Data}$  56  $\text{Data}$

60  $\text{Data}$  48  $\text{Data}$  46  $\text{Data}$  46  $\text{Data}$

47  $\text{Data}$  52  $\text{Data}$  51  $\text{Data}$  68  $\text{Data}$

58  $\text{Data}$  49  $\text{Data}$  47  $\text{Data}$

### LCD表示



# 統計計算(最大値、最小値、中央値)

難易度



3. Shift S-VAR

(平均値を計算します。)

SD

$\bar{x}$   
52.26666667

4. Shift S-VAR

(標準偏差を計算します。)

SD

$\sigma$   
5.926962872

5. Shift S-PTS

(最小値Xが表示されます。)

SD

minX  
46.

6. Shift S-PTS

(最大値Xが表示されます。)

SD

maxX  
68.

7. Shift S-PTS

(中央値が表示されます。)

SD

med  
51.

男子生徒の体重の平均値、標準偏差、中央値は順に  
52.27kg、5.93kg、51kgです。



**例題 1 :**

健太郎はボールが傾斜面を転がり落ちるときの速度  $x$ (m/秒)と、経過時間(秒)との関係を求めようとしています。下表は実験から得たデータです。

x	6.7	7.2	9.5	11.3	13.1	15.8	18.4	20.6	23.7	25.9
y	12.1	12.2	15.5	17.6	20.7	24.4	26.2	30.6	33.5	38.0

$x$ と $y$ が1次関数である場合、変数 $x$ 、 $y$ の最適直線を求めてください。

**説明**

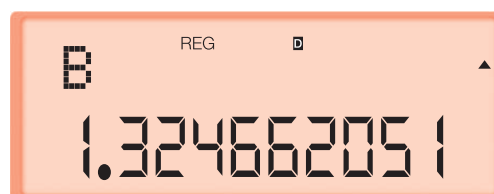
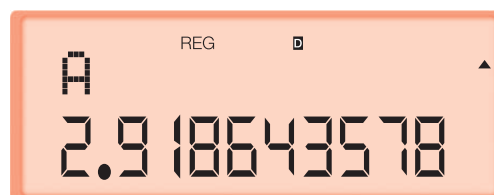
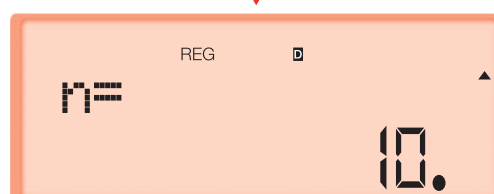
統計学では、1次関数である2変数をモデル化するために、1次回帰計算モデルを利用することがよくあります。実験上の誤差により収集したデータが正確に一直線にならない場合がありますから、最適モデルを推定しなければなりません。1次回帰計算モデルの最適直線は $y = A + Bx$ です。

## 操作

- 1 次回帰計算モード  $\text{MODE}$   $\text{MODE}$  11にします。(F-715Sでは  $\text{MODE}$  31を押します。)
- サンプルデータを入力します。  
 6.7  $\text{'}$  12.1  $\text{Data}$  7.2  $\text{'}$   
 12.2  $\text{Data}$  9.5  $\text{'}$  15.5  $\text{Data}$  11.3  
 $\text{'}$  17.6  $\text{Data}$  13.1  $\text{'}$  20.7  $\text{Data}$   
 15.8  $\text{'}$  24.4  $\text{Data}$  18.4  $\text{'}$  26.2  
 $\text{Data}$  20.6  $\text{'}$  30.6  $\text{Data}$  23.7  $\text{'}$   
 33.5  $\text{Data}$  25.9  $\text{'}$  38.0  $\text{Data}$
- $\text{Shift}$   $\text{S-VAR}$   $\text{>}$   $\text{>}$  1  $\text{=}$   
 (係数Aを計算します。)
- $\text{Shift}$   $\text{S-VAR}$   $\text{>}$   $\text{>}$  2  $\text{=}$   
 (係数Bを計算します。)

最適直線は、 $y = 2.92 + 1.32x$ です。

## LCD表示



※この問題に対応できるのは、F-766Sだけです。

### 例題 1 :

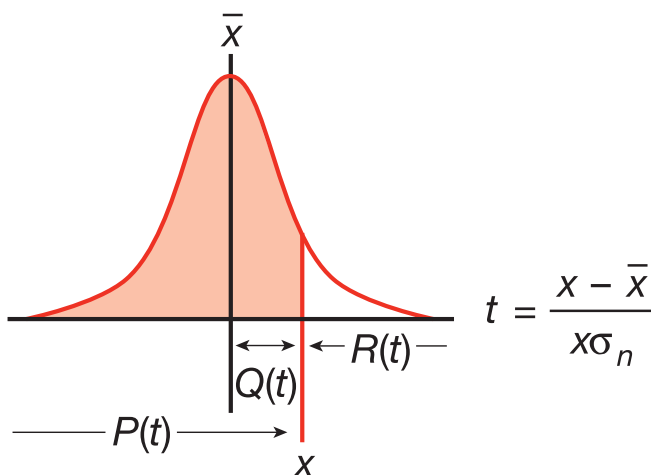
以下は町の労働者サンプル10人の時間給(円)です。

980	1200	1000	1500	1200
900	1000	1200	980	950

労働者の時間給が980円以下である確率を求めてください。

### 説明

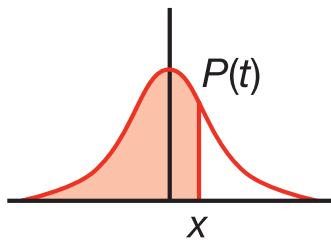
統計学では、母集団  $\bar{x}$  のサンプル中間値  $x$  の分布は正規分布により概算できます。  $P(t)$ 、 $Q(t)$ 、 $R(t)$  は  $T$  の変数として計算できます。



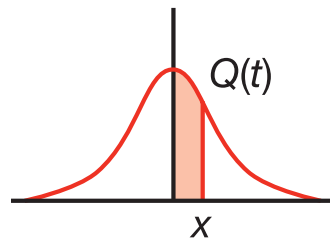
$x$  : ランダム変数

$\bar{x}$  : サンプル中間値

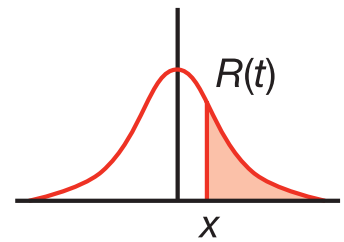
$x\sigma_n$  : 標準偏差



$$P(t) = \int_{-\infty}^x \frac{1}{\sigma\sqrt{2\pi}} e^{-\frac{1}{2}\left(\frac{t-u}{\sigma}\right)^2} dt$$



$$Q(t) = 0.5 - R(t)$$



$$R(t) = 1 - P(t)$$

## 操作

- 標準偏差モード  $\text{MODE}$  3にします。

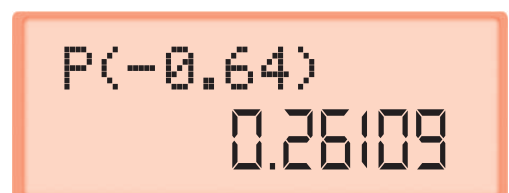
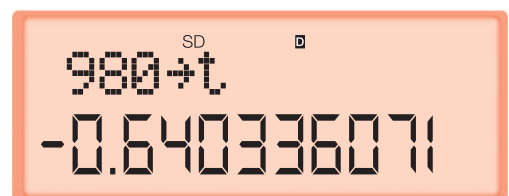
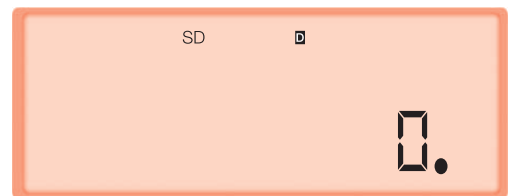
- サンプルデータを入力します。

980  $\text{Data}$  1200  $\text{Data}$  1000  $\text{Data}$  1500  $\text{Data}$   
 1200  $\text{Data}$  900  $\text{Data}$  1000  $\text{Data}$  1200  $\text{Data}$   
 980  $\text{Data}$  950  $\text{Data}$

- 980  $\text{Shift}$   $\text{DISTR}$  4  $\text{=}$   
 (x = 980のときtを計算します。)

- $\text{Shift}$   $\text{DISTR}$  1  $(-)$  0.64  $)$   $\text{=}$   
 (P(t)を計算します。)

## LCD表示

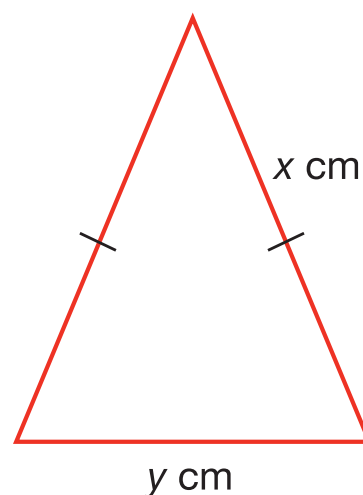


求める確率は0.261です。

※この問題に対応できるのは、F-766Sだけです。

## 例題 1:

ある二等辺三角形は周囲が13 cmです。等辺はおのおのx cm、底辺はy cmです。xがyより2だけ大きいとき、xとyの値を求めてください。



## 説明

2つの変数がある問題です。1組の連立1次方程式を立てて、xとyを求めます。方程式は次の2つです。

$$\begin{cases} 2x + y = 13 \\ x - y = 2 \end{cases}$$

内蔵されている公式は

$$\begin{cases} a_1x + b_1y = c_1 \\ a_2x + b_2y = c_2 \end{cases}$$

です。

## 操作

1. 方程式計算モード  $\text{MODE}$   $\text{MODE}$  3  
にします。

2. 2  
(未知数の数2を入力します。)

3.  $2 = 1 = 13 =$   
(第1の方程式の係数を入力  
します。)

4.  $1 = (-) 1 = 2 =$   
(第2の方程式の係数を入力  
します。)  
(xの値が表示されます。)

5.  $\odot$   
(yの値が表示されます。)

xとyの値は、それぞれ5と3です。

## LCD表示

Unknowns?  
2 3

a1? EQN 0.

a2? EQN 0.

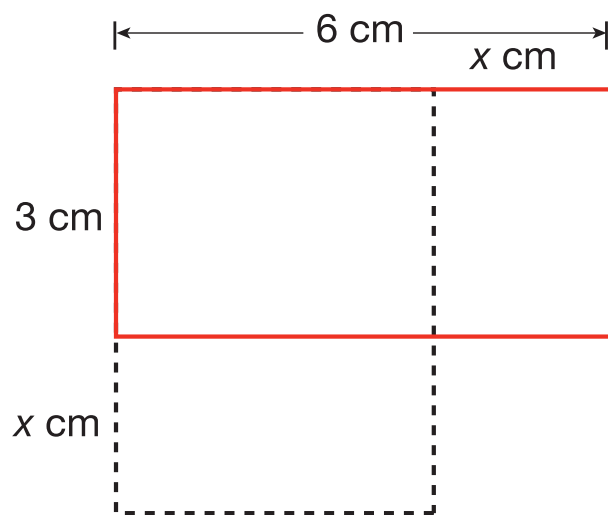
x= EQN 5.

y= EQN 3.

※この問題に対応できるのは、F-766Sだけです。

## 例題 1:

ある長方形の寸法は6 cm × 3 cmです。たてをx cmだけ減らしてよこをx cmだけ増やすと、面積は19 cm<sup>2</sup>になります。xの値を求めてください。



## 説明

この問題は次の2次方程式を立てることで解けます。

$$(6 - x)(3 + x) = 19$$

$$x^2 - 3x + 1 = 0$$

内蔵されている公式は

$$ax^2 + bx + c = 0 \left( x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \right)$$

です。

## 操作

1. 方程式計算モード  $\text{MODE}$   $\text{MODE}$  3  
  $\text{>}$  にします。

2. 2  
 (方程式の次数2を入力  
 します。)

3.  $1 \text{ = } (-) 3 \text{ = } 1 \text{ = }$   
 (方程式の係数を入力  
 します。)

(xの第1の値が表示され  
 ます。)

4.  $\text{v}$   
 (xの第2の値が表示され  
 ます。)

xの値は2.62または0.38です。

## LCD表示

Degree?  
 2 3

a?  $\text{EQN}$   
 0.

$x_1 =$   $\text{EQN}$   
 2.618033989

$x_2 =$   $\text{EQN}$   
 0.381966011



※この問題に対応できるのは、F-766Sだけです。

## 例題 1 :

次の計算結果を2進数で表示しましょう。

$$(AB_{(16)} + 24_{(8)}) \times 12 =$$

## 説明

この問題では、結果を2進数で表示する必要があります。2進数計算または8進数計算の結果が8桁を超えると[1b]または[1o]が表示されて、次の結果表示があることを示します。<sup>Blk</sup> を押し続けると、順番に結果を繰り返して表示できます。

## 操作

1. n進計算モード <sup>MODE</sup> <sup>MODE</sup> 2 にします。

表示方法は

<sup>DEC</sup> 10進, <sup>HEX</sup> 16進, <sup>BIN</sup> 2進,

<sup>OCT</sup> 8進を選択できますが、ここ

では<sup>BIN</sup> 2進を選択し2進法で結果を表示させます。

## LCD表示

0. b

2.  $\text{DHBO}$   $\text{DHBO}$   $\text{DHBO}$   
    2

<sup>A</sup> <sup>B</sup>

(16進計算としてABを追加入力します。)

(hAB+  
0.<sup>b</sup>

3.  $\text{DHBO}$   $\text{DHBO}$   $\text{DHBO}$   
   4 2 4

(8進計算として24を入力します。)

(hAB+o24)  
0.<sup>b</sup>

4.  $\text{DHBO}$   $\text{DHBO}$   $\text{DHBO}$   
 ×    1 1 2

(10進計算として12を掛けます。)

(hAB+o24)×d1  
1110100.<sup>b</sup>

5. 下8桁を1bに表示します。

6. <sup>Blk</sup>

(次の結果表示2bに進みます。)

(hAB+o24)×d1  
1000.<sup>2b</sup>

上記の例から答は

1000  
Blk 2b

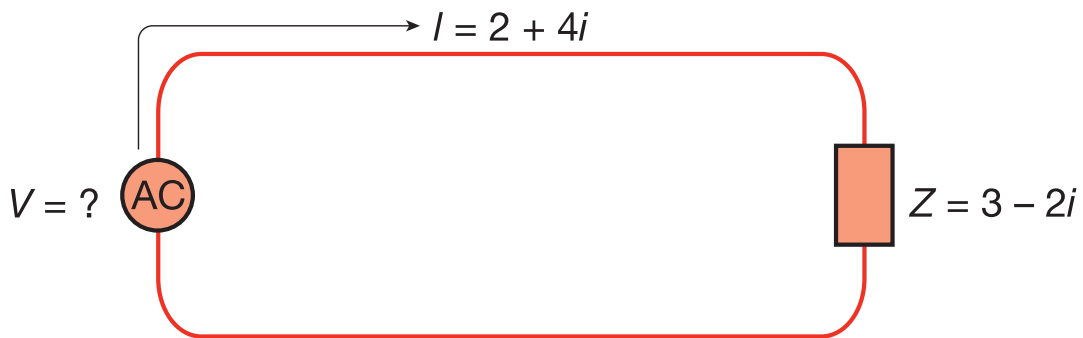
11110100  
Blk 1b

となります。

※この問題に対応できるのは、F-766Sだけです。

## 例題 1:

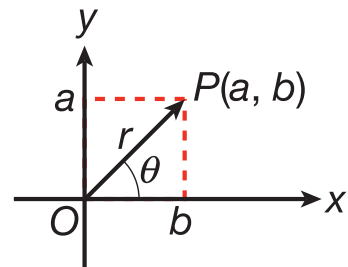
下の図で、インピーダンス  $Z = 3 - 2i$ 、電流  $I = 2 + 4i$  です。電圧  $V$  の極形式と、その絶対値を求めてください。



## 説明

次式を使用します。  $V = IZ$

複素数は  $a$ 、 $b$  とも実数である直交形式  $a + bi$ 、または  $r$  を絶対値、 $\theta$  を偏角とする極形式  $r(\cos \theta + i \sin \theta)$  のいずれかで表せます。



## 操作

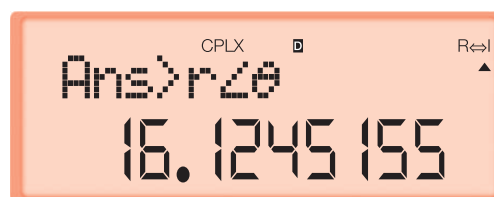
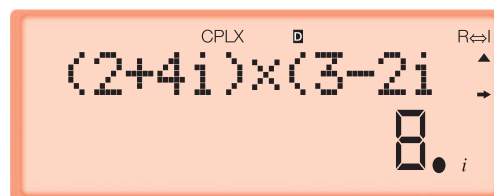
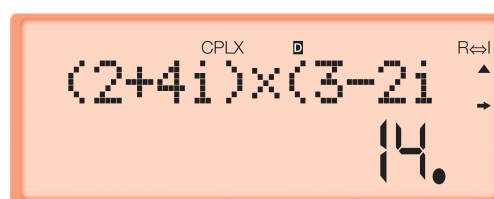
1. CPLXモード  $\text{MODE}$  2 にします。

2.  $(2 + 4i) \times (3 - 2i)$  の計算を行います。  
 (Vの実数部が表示されます。)

3.  $\text{Re} \leftrightarrow \text{Im}$  を押して、虚数部を表示させます。

4.  $\text{Shift} \text{ } r \angle \theta$  を押して、絶対値を表示させます。

## LCD表示

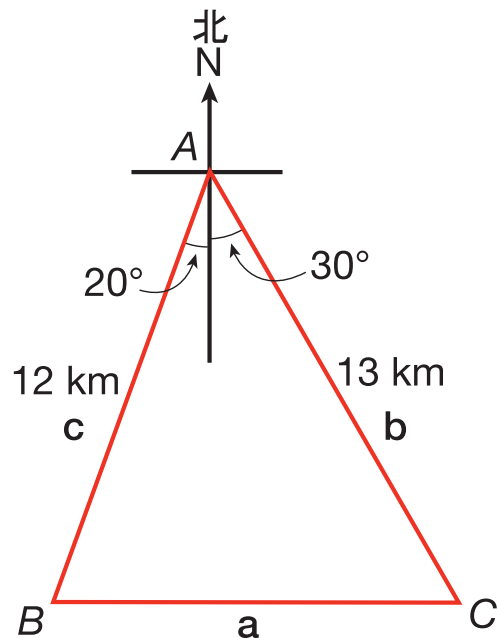


求める電圧は  $14 + 8i$  で、その絶対値は  $16.12 \text{ V}$  です。

※この問題に対応できるのは、F-766Sだけです。

**例題 1:**

図で、船Bの灯台Aからの方位はS20°W、距離は12 kmです。船Cの灯台Aからの方位はS30°E、距離は13 kmです。BC間の距離を求めてください。



**説明**

余弦定理を利用します。

$$a = \sqrt{b^2 + c^2 - 2bc \cos A.}$$

この問では、

$b = 13, c = 12$  と  $A = \angle BAC = 20^\circ + 30^\circ = 50^\circ$ .

とします。

## 操作

1. 18  

それから、 を押します。

(公式18を選択して確認。)

2. 13 

(bの値を入力します。)

3. 12 

(cの値を入力します。)

4. 20  30 

(Aの値を入力します。)

5. (aの値が表示されます。)

求める距離は10.6 kmです。


注:

公式の番号は使用説明書の公式リストに記載しています。


## LCD表示




a= $\sqrt{(b^2+c^2-2b$



b?



c?



A?



10.60425696

## 例題 2 :

等比級数  $2 - 6 + 18 - 54 + \dots$  の最初の10項の合計を求めてください。

## 説明

$a_0 = 2$ 、 $r = -6 \div 2 = -3$ 、 $n = 10$  の等比級数の最初の10項の合計を求める問題です。公式は、

$$\text{Sum} = \frac{a_0(r^n - 1)}{r - 1}$$

## 操作

1. 13

その後、 を押します。  
(公式13を選択して確認。)

2. 2

( $a_0$  の値を入力します。)

## LCD表示

The LCD displays the formula  $S = a_0(r^n - 1) /$  with a cursor at the end of the line. The labels 'Alpha' and 'FMLA' are visible at the top of the screen.

The LCD displays 'a0?' on the top line and '0.' on the bottom line. The labels 'Alpha' and 'FMLA' are visible at the top of the screen.

3.  $(-)$  3  $=$

(rの値を入力します。)



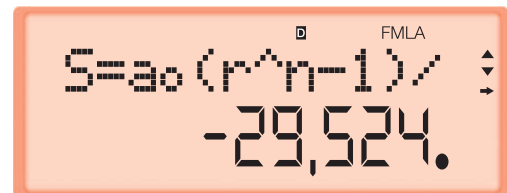
4. 10  $=$

(nの値を入力します。)



5. (合計の値が表示されます。)

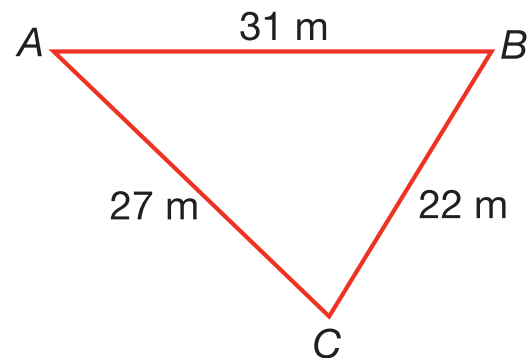
合計は-29,524です。





**例題 3 :**

図のABCは三角形の土地で、 $AB = 31 \text{ m}$ 、 $AC = 27 \text{ m}$ 、 $BC = 22 \text{ m}$ です。 $\triangle ABC$ の面積を求めてください。



**説明**

3辺の長さが分かっているので、ヘロンの公式を利用します。

$$\text{面積} = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)}, \quad s = \frac{a+b+c}{2}$$

**操作**

1. 36 Alpha FMLA

その後、= を押します。  
(公式36を選択して確認。)

**LCD表示**

$S = \sqrt{((a+b+c)$

2. 22 [=]

(aの値を入力します。)



3. 27 [=]

(bの値を入力します。)



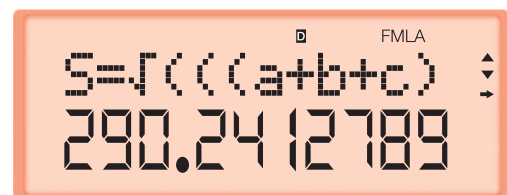
4. 31 [=]

(cの値を入力します。)



5. (面積が表示されます。)

求める面積は290.24 m<sup>2</sup>です。



# Canon